

# 2024年度 メリー★ポピinz 成増ルーム事業報告書 (保育所における自己評価)

## I. 2024年度の概要 ~年度の基本方針を受けて~

保育理念…「にんげん力。育てます。」

保育目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

上記の保育理念の元、子育て支援ちきんえっぐ・近隣の子育て世帯と園児を結ぶ活動の青空保育などを通し保育園、地域、保護者が相互に関わり合える機会を提供することができた。来訪者数など目安人数には達することができなかったが入所率100%の維持、ビジターの継続など地域に選ばれることに繋がっていった。

また10の姿を定期的に園会議等で職員同士が学び合い、子どもの様子を振り返り法人の目指す6つの力の実行をしていくことができた。

### 〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもが生活力を体得できる環境を作る。
	実践結果	月の歌をその日いる職員全員で毎日歌うことで定着し、口ずさむ子どもの姿が増えている。子ども同士関わり合いを大切にし、職員が見守る体制を保てるように日々保育の振り返りを行った。
	次年度方向性	引き続き日課を大切にしながら、職員がまず背中を見せる意識を培う。
2	計画・ねらい	保育所保育指針にて育むように定められた10の姿を体得できる環境を作る。
	実践結果	職員間の学び合いを通して、現状の子どもの姿を捉えカテゴリごとに10の姿に繋がる場面を語れる保育士ができた。
	次年度方向性	保育のエピソードを共有し子どもを多面的に捉えられる保育者集団になる。
3	計画・ねらい	保護者の心に入り込んだ接遇・保護者がいつ見ても気持ちが良い施設を目指す。
	実践結果	園内環境をよりよくしようとする意識の元、自発的に美観に努める姿があった。
	次年度方向性	継続的に取り組み棚の上や、事務所内、倉庫内など保護者目線で園を見渡し目につく場所の清掃を行う。

## 〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	園と家庭の共育を行なう。
	実践結果	園と保護者間の信頼関係を構築したことで保育参加・個人面談希望者が増え園を知りいただける機会を多く持つことができた。
	次年度方向性	異動職員が多いため、日々のコミュニケーションを大切にし、子どもを真ん中に据え置き保育を行う。
2	計画・ねらい	自園の強み・特徴を生かした園や子どもの姿の記録と公開。
	実践結果	インスタグラムを見ることができる機会を通して園児の新規獲得、子育て支援の来訪者の増加につながった。
	次年度方向性	ポートフォリオなどを作成し、保育の一場面についてのお伝えや6つの力に繋がる場面のコラムなどで取り組みをしていただく。
3	計画・ねらい	一人ひとりにあった離乳食を提供する。
	実践結果	離乳食提供時には栄養士が付き、園児の嚥下咀嚼を見守る。その姿を通して保護者に現状をお伝えし次のステップの様子などをアドバイスしてきた。
	次年度方向性	未食の管理などを含め、離乳食提供児の保護者と密に関わり合い無理のない離乳食の提供を継続する。

## 〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の子どもに遊び場を提供し保護者同士の交流の場所となる。
	実践結果	園児と近隣の子育て世帯が交わり合う青空保育では定期的に参加者がおり、園見学にも繋がっていった。
	次年度方向性	地域来訪者数を増やすために散歩先での子育て世帯との関わりを大切にして園を知りいただく機会を増やす。
2	計画・ねらい	シニア交流・職場体験等の異世代交流を行い開かれた保育園を目指す。
	実践結果	職場体験を通してどろんこ祭りへの興味に繋がり足を運んでくれた。デイサービスの方々とも散歩先で声をかけてくれることになった。
	次年度方向性	継続的に職場体験を受け入れるとともに、小学生の保育所体験を増やすべく掲示を行い園児と関わりあえる機会を作る。

## 〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	保育者の主体性を培う
	実践結果	自主的な学びが多くそれを月1回の園会議などでアウトプットする場を持った。職員同士の学びが活発なディスカッションの姿に繋がった。
	次年度方向性	キャリアアップの進捗を確認し、進める予定を各々が立てる。それに伴い学びを深める場をつくる。
2	計画・ねらい	子どもの人権を理解する
	実践結果	園長大学の動画受講や様々な資料を基に日々の保育を振り返ることができた。年に2度現在行なっているが簡単な振り返りなどは毎月行っても良い

		と感じ下半期は時間を使い話し合いの場を持った。
	次年度方向性	人権についての全体の学びを通して職員間の意識の統一を図る。また、施設長が日常的に保育に入ることで日々の職員の言動を把握し振り返る。
3	計画・ねらい	大人のにんげん力 UP
	実践結果	みんなが同じものができないのではなく、各々の個性や強みを生かした保育を展開することができたことで助け合い認め合う風土の元日々の保育のチームワークに繋がった。
	次年度方向性	職員入れ替えが多いので新しいチームとして組織を作り上げていく。園長が仲立ちをしながら保育観の共有をして保育にあたる。

## 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	五感で畑を体験する
	実践結果	バスに乗れない0. 1歳児は日常的にプランターの土に触れることができた。畑の活動を楽しみにする姿も多く、意欲的に取り組む様子が見られた。
	次年度方向性	バスの畑活動を継続して、畑の野菜生育スケジュールに基づき実行する。職員も一緒に裸足になり土の感触を楽しみ子どもたちと畑活動にあたる。
2	計画・ねらい	野菜の下処理を日常的に行い野菜に触れる
	実践結果	朝の日課活動に入れ込み、子どもたちも今日の野菜が何があるかを楽しみに登園していた。玉ねぎの皮むきが上手になり家庭で手伝えることもあった。
	次年度方向性	引き続き野菜に親しむ時間を作り色や香り手触りを感じ名前を覚える興味に繋がる環境をつくる。

## 〈6〉選ばれる園をつくる

1	計画・ねらい	認証保育所として地域の待機児童解消に努める。
	実践結果	一年を通してマンスリーは定員を継続し、ビジターの登録を促すことで地域の待機児童解消に繋がっていった。
	次年度方向性	ビジターの新規獲得や、弾力化を行い引き続き地域の子育て世帯のサポートができるように受け入れ態勢を作る。
2	計画・ねらい	来訪者にとって気持ち良い対応を心掛ける。
	実践結果	気付いた職員が日々保育環境を整えていける自発的な取り組みがあった。
	次年度方向性	来訪者が多いので目につく環境を美観を意識して整えていけるよう話し合いや振り返りを行う。
3	計画・ねらい	スタッフがやりがいを持ち働きやすい園になる。
	実践結果	スタッフのやりたいことを話し合い、実行できる機会をつくる。心理的安全性の元挑戦しようとする意識が芽生え広がっていった。

	次年度方向性	一人ひとりが自己開示に、まず強みが發揮できるように保育を展開していく。
--	--------	-------------------------------------

## 2. 施設運営

### 〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児
年度前半： 4~9月	36人	72人	72人
年度後半： 10~3月	36人	72人	72人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	8人	4人	4人	8人	4人	5人	4人	8人	7人	7人	7人	7人	73人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	11人

（解説）下半期に0歳児の延長保育の需要が増える。

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	4人	7人	3人	2人	3人	7人	7人	8人	16人	8人	8人	8人	81人
うち0 歳児	2人	2人	2人	0人	2人	4人	4人	4人	6人	0人	0人	0人	26人

（解説）定期的なビジター利用に繋がり、次年度の継続を行う。

### 〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	6人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	3人	補助	2人	調理	0人	事務	0人

## 3. 運営報告

### 〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策定会議にて実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園内研修等
給食運営会議	月1回	離乳食進行検討・食べたくなる意欲を育む環境ディスカッション
事故防止委員会	月1回	園内外における事故・ヒヤリハット・インシデント事例を基に事故予防と防止の具体的な策を検討

### 〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議	月1回	施設長
施設長勉強会	月1回	施設長
食育会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長、調理スタッフ
保健会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長
主任会議	年4回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

### 〈3〉係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	園内備品管理・発注を行い適正な管理を行った。
安全対策係	防災実施点検・設備点検・事故防止点検の実施を行い安全に努めた。
防火管理者	災害対策・消防計画に則った避難訓練の実施責任・自主点検の実施を行い、安全に努めた。
食品衛生管理係	給食提供責任・食材の安全衛生管理を行い安全に努めた。
畠係	年間計画に基づいた畠活動の実施、計画の振り返り、畠管理を計画通りに実施した。
生き物係	餌の管理・発注を行い日常的な世話の管理を行った。

### 〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	地域の方々への宣伝や当日までの段取りを行い集客に努めた。

## 4. 保育支援

### 〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標を常に掲げ保育を振りかえり意識し実行できた。</li> <li>・園と家庭の共育を意識し全職員が家庭と信頼関係の構築ができた。</li> <li>・保育参加を増やし園の保育の見える化に努めた。</li> </ul>
保育参加	<p>4～3月まで 合計14名 が参加済み (3月15日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に呼びかけを通し去年度より参加数が増える。</li> </ul>
保護者面談および発達相談	<p>4～3月まで 合計3名 が参加済み (3月15日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時などでしっかりお話ができたため参加数が減少していた。</li> </ul>
運営委員会	運営委員会を6月21日・11月15日園内にて実施し、参加した保護者20名 詳細は議事録に記載

## 〈2〉計画した年間行事の振りり

- ・別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	子どもの食欲と意欲を育てる
	実践結果	計画な長距離散歩を行い子どもたちの体力向上に努め、それと共にお腹が空く様子が見られた。
	次年度方向性	現状の子どもの様子を捉え無理のない計画の元長距離散歩を行う。
2	計画・ねらい	給食残渣の削減を計画し、振り返る
	実践結果	毎月の給食運営会議の中で振り返りとその要因を分析し計画的に削減できた。
	次年度方向性	引き続き要因分析を行い、日々の保育の中で残渣に繋がる取り組みを行う。
3	計画・ねらい	実体験を通して食や食の循環について興味関心を持つ
	実践結果	梅干し、味噌、干し柿を作り加工したものへの子どもたちの興味を培うことができた。
	次年度方向性	子どもたちに活動の内容をしっかり伝え、保護者にも共有すべくポートフォリオを作成する。

## 〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月12日／11月13日に実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
流行した感染症	特になし
発作・痙攣等の対応	ダイアップ預かり無し
エピペン使用できるスタッフの状況	・3月園内にてエピペン研修を伊藤久仁子が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ12名のうち12名が使用可能
その他保健に関する取組	一日一度の消毒・定期的な換気の徹底を行う。

## 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月30日、10月30日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月12日、11月13日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月26日、10月25日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

## 〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	自ら経験を選び取ることができる物的環境の設定
	実践結果	職員が子ども同士の関わり合いを大切にするという一定した関わりを通して子どもたちが試行錯誤しながら他児と関わり自発的な意欲につながった。
	次年度方向性	職員の目標合わせを園会議で行い、園としてのブレない対応を心がける。また定期的な振り返りを通して次のアクションにつなげていく。
2	計画・ねらい	安全な環境で遊べるべく十分な点検を行う
	実践結果	玩具の破損などは毎日の点検で行い取り除くことができていた。

	次年度方向性	玩具点検のポイントを職員間で共有し同じ危機意識の元毎日の点検にあたる。
--	--------	-------------------------------------

#### 〈7〉 手作り遊具・家具安全点検結果

##### 手作り遊具・家具一覧

N o	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	ままごと台	室内	毎日	異常なし

#### 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	毎月の避難訓練では違う時間を設定しどんな時でも瞬時に対応できる職員の動きの確認を行った。
2	実践結果	安全計画に基づいた実行を行い振り返りを全職員に周知・共有をした。
3	実践結果	インシデント発生時速やかに記入することで次の似通ったケガに繋がらないようにした。
4	実践結果	不審者侵入訓練では、絶対に入れないと意識を全職員が持ち速やかに110番に架電する訓練を行う。

#### 6. 実習生・中高生の受入

##### 〈1〉 今年度の振り返り

近隣中学校から多くの職業体験を行うことができ、保育士の啓蒙ができた。

実習などは温かく迎え入れる体制を全職員が持ち次期保育者の育成に繋げていった。

##### 〈2〉 実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
5月21日	日本児童教育専門学校	1人	観察実習
10月15～17日	日本児童教育専門学校	2人	観察実習

### 〈3〉中高生の受入

日程	学校名	人数
7月9～10日	豊溪中学校	4人
7月25～26日	城西大学付属城西高等学校	1人
8月5～6日	淑徳巣鴨高等学校	1人
8月5～6日	豊南高等学校	1人

## 7.スタッフ研修

### 〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	26日 12名	31日 12名	28日 12名	26日 12名	30日 12名	27日 12名	25日 12名	29日 12名	20日 12名	31日 12名	28日 12名	28日 12名

### 〈2〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	22日 1名	15日 1名	27日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	20日 1名	20日 1名	21日 1名
施設長勉強会	22日 1名	15日 1名	26日 1名	17日 1名	21日 1名	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	19日 1名	19日 1名	19日 1名
全社員研修	8月に動画視聴にて研修を実施（全スタッフ対象）											

### 〈3〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

## 8. 地域交流

## 〈1〉 今年度方針・テーマの振り返り

地域に根差した関わりを今年度の方針とし、保育の中で様々な機会を作り上げた。散歩先でも声をかけていただくことが増えたり、次年度の見学者などの来訪者数に繋がった。

## 〈2〉 実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回　　公園名：成増児童遊園公園にて　　参加延べ人数：19名
商店街ツアーハナマサ	週1回　主な行き先：銀座コージーコーナー、小寺畠店、保険ほっとライ ン、肉のハナマサ、御菓子司　田中屋本店等
世代間交流	2月21日にシンシアリハビリディサービスにて交流
異年齢交流	3月11日に園内にてボランティアの高校生と交流

## 9. 要支援兒

### 要支援児なし

## 10. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9名	7名	3名	0名	0名	10名	9名	2名	1名	3名	3名	3名	50名

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 相談実施なし
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置
ちきんえつ ぐだより	毎月1日発行
青空保育 (支援セン	月1回 公園名：成増児童遊園 以下日程にて実施
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計

ター主催)	3名	3名	0名	0名	0名	2名	1名	2名	1名	3名	2名	2名	19名
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

## II. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

### 〈2〉 園による自己評価の実施

2024年5月31日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：9時00分

自己評価終了時刻：17時30分

自己評価実施者：朝重雅恵、堀内みなみ、菅原詩乃

### 〈3〉 利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

アンケート回収率は高く保護者の意見を全ていただくことができた。

行事に於いてのお知らせなどアプリのみではなく玄関に冊子も置いてはいたが伝わり切れず  
都度ご案内をしていけるようにしていく。

## 12. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって  
寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図  
る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

### 〈1〉 報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

### 〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2025年3月15日 メリー★ポピングズ 成増ルーム 施設長 朝重雅恵